



笑顔あふれる大北小 夢が広がる大北小

大北げんより

10月号

令和元年9月30日
練馬区立大泉北小学校
校長 内木 勉

<http://www.ooizumi-n-e.nerima-tky.ed.jp/>

がんばれ岩井！一日も早い復興を願って

校長 内木 勉

9月8日から9日にかけて関東を直撃した台風15号は、千葉県などに甚大な被害をもたらしました。ベルデ岩井のある南房総市も日常生活がままならないほどの被害があり、現在も日々の生活を取り戻すための復旧作業に追われています。しかし残念ながら、今回の岩井方面の大きな被害、児童の安全の確保、何よりも地域の復興を第一に考え、今年度中の岩井移動教室は中止となりました。児童の受け入れのために停電が続く中、必死に作業していたスタッフの方々、現地に足を運び、被害状況の確認や安全確認に尽力された担当の方々、多くの方々が子どもたちのために岩井移動教室の再開を目指して奔走してくださいました。その姿と想いに感謝するとともに、千葉県ならびに南房総市、ベルデ岩井のスタッフの方々、岩井の地域の方々の一日も早い復興と、再び岩井に子どもたちのたくさんの笑顔があふれることを心より願っています。

練馬区の特色ある教育活動のひとつが移動教室です。昭和50年に下田少年自然の家、軽井沢高原寮（現在の軽井沢自然の家の前の施設）で実施され、昭和62年からは4つの施設、下田・岩井・武石・軽井沢と海方面2つ、山方面2つの計4つの施設で実施しています。東京都で4つの施設を所有している区市町村はおそらくないと思います。当時の練馬区長が、練馬で生まれ育った子供たちは海や山を知らない。海や山の自然とふれ合う機会をという想いから4つの施設を作ったと聞いています。その想いが今も引き継がれ、区内全校の5・6年生を対象に移動教室を実施しているのです。

移動教室は家庭を離れ、友達や先生と一緒に共同生活をします。たくさん的人数で過ごすためには、家庭とは違うルールも必要です。我慢しなくてはいけないことなど普段とは違うストレスの中での生活になります。しかし、その中で、誰もが気持ちよく過ごすためにどうしたらよいかを考えたり、友達の新しい一面を知り友情を深めたり、今までと違った人間関係を築いたりすることも大切な学習なのです。また、学校とは違った時間の流れの中で、そこでしかできないこと、そこでしか体験できないことにたくさん取り組み、学校とは違った学びを深めてほしいと思い計画・実施しているのです。

私自身も練馬区立の小中学校を卒業しています。今から40年以上前の移動教室の場面は今でも鮮明に覚えています。悪天候の中の下田海中水族館。消灯後、窓の外の木々が風で大きく揺れ動くのが街灯に映し出されている様子。友達との楽しい会話。キャンドルファイヤーでのときめき。あの時のワクワク感やドキドキ感はまるで昨日のこことのように思い浮かびます。9月におこなった5年生の下田移動教室、6年生の軽井沢移動教室が、子どもたちにとって忘れられない思い出になっていてくれたら、こんなにうれしいことはありません。

代表委員会で南房総市への募金活動に取り組みます！

台風15号による千葉県の大きな被害のニュースを目にし、代表委員会の4年生が中心となり募金活動に取り組むこととなりました。6年生が昨年お世話になり、4年生が来年お世話になるベルデ岩井。その岩井の町がある南房総市の一日も早い復興を応援し募金活動をおこないます。皆様のご協力をお願いいたします。

◇募金活動の日時

10月2日(水)・3日(木)・4日(金)の3日間
8:00～8:15頃 昇降口前でおこないます

軽井沢移動教室

6年担任
高橋 諒

6年生は、9月24日（火）から27日（金）まで、3泊4日の軽井沢移動教室に行ってきました。1年生が心を込めて作ってくれたてるてる坊主のおかげで、四日間のほとんどがよい天気の中で過ごすことができました。

1日目は、ベルデ軽井沢の広大な敷地を利用した自然トレッキングを行いました。森の中を歩きながら動物の痕跡などを教わりました。昼食を食べて、午後は、クラブ活動の予定でしたが雨が降ってしまったため、ベルデの館内でウォークラリーを行いました。軽井沢にまつわる問題や、算数、国語の問題など班の友達と協力して解いていました。夜は、星空観察を行いました。軽井沢の自然のスペシャリスト手水さんに、星や惑星などについて教えてもらいました。



2日目は、軽井沢アイスパークでカーリング体験をしました。最初は氷になれるため寝そべて滑り、子供たちは大はしゃぎでした。その後はストーンの投げ方などを教えてもらい実際に試合をしました。相手のストーンを弾き飛ばしたり、スーパーショットがあったりと大いに盛り上がりました。午後は初日と同様にベルデの自然を利用して林業体験をしました。実際に間伐を子供たちの前で見せてくれて、木が倒れる音や迫力に圧倒される子供もいました。その後は、のこぎりを使ってコースターや写真立て作りをしました。まっすぐ切ることに苦戦しながらも、時間の中でたくさんのお土産を作ることができました。夜はキャンプファイヤーを行い、学年で楽しくレクで盛り上がり、最後は軽井沢の綺麗な星空を見ながら、音楽会で歌う「願い」の曲を全員で合唱しました。



3日目は、ベルデで飯盒炊さんを行いました。かまどの作り方や薪の組み方など施設の方が、丁寧に教えてくださいました。班によっては、水の量が多く、久保先生に泣きの追加カレールーをもらっていましたが、最後にはどの班も美味しくつくることができました。その後は、初日にできなかった学年合同のレクを行い、ベルデの広いグラウンドを元気いっぱい走り回りました。午後は、白糸の滝でクラス写真を撮り、お土産屋さんで家族へのお土産を選びました。夜は、恐怖のきもだめし大会を行いました。夕食の前から、そわそわしている子供たちが何人も

いました。今年は昨年以上の大盛況(?)で、スタートの順番になった瞬間に泣いてしまう子や、あまりの怖さに出発して1分もしないうちにスタート地点に戻って来てしまう子などもありました。また、泣いている子を一生懸命に励ましているグループの姿も見ることができました。

最終日は閉校式を行いました。お世話になったベルデの皆さんにしっかりと感謝を伝えることができました。その後、松井農園でりんごの食べ放題、群馬県立歴史博物館で、それぞれの時代の貴重な出土品などを見学し、歴史について深く学習しました。

今回の移動教室でも、昨年に引き続き「責任」「協力」「感謝」をテーマに、準備を行い、軽井沢で生活してきました。今年も、自分たちの役割を責任もって行うだけでなく、自分たちで考えて行動すること、自分たちで移動教室をつくっていくということも意識しながら過ごすことができましたように思います。この経験を生かして、卒業を迎えられるように指導を続けていきます。



下田移動教室

5年担任
伊藤 裕樹

5年生は9月10日から12日の3日間、下田移動教室に行ってきました。前日からの台風の影響が心配される中、予定変更も考慮しながらの行程でした。道中は折れた枝や木が多く目につきましたが、バスレク係さんが様々なゲームを行い盛り上げてくれました。シャボテン公園では断水中でソフトクリームが食べられず、子どもたちはかなり残念がっていました。

初めての宿泊学習ですので、仲間と一緒に風呂に入ることや、食堂でご飯を食べること、ベッドで寝ることなど、様々なことを共にする上で守らなければいけないルールを学びました。

2日目はとても暑く、磯遊びでは汗をかきながら一心不乱に生き物探しをしていました。貝、かに、やどかり、なまこ、ヒトデ、小魚など、その大きさ、数、種類を競い合っていました。下田海中水族館では、お土産の買い物が楽しみだったようで、中でもぬいぐるみを買う子が多くいました。

3日目は、ベルデ下田に別れを告げ、最後の見学場所である地球博物館へと向かいました。大きな恐竜の化石や、リュウグウノツカイのはく製など興味深いものがたくさんあり、全部を丁寧に見て回るのは難しそうでした。移動教室も終わりに近づき、学校間近の車内では、「3泊でも良かった」「もう一回行ってみたい」などの声が聞こえました。

生活を共にすることで作り上げた、仲間との新たな絆を今後の生活に活かして欲しいと思います。

(3日間通してベルデで頂いた朝食・夕食ともにお替りする子がとても多く、厨房ではうれしい悲鳴が響いていたそうです。)



大北オリンピックについて

特別活動部 山川 美帆

10月18日(金)に大北オリンピックを開催します。2020年の東京オリンピック・パラリンピックまで1年を切りました。

大北小では、生活科や総合的な学習の時間で、競技、世界や日本の文化について学んだことをお店という形で発表し合います。

低学年は、日本の文化である昔ながらの遊びを学習しお店を出します。中学年は、オリンピック・パラリンピックについて学習したことをもとに、お店を作ります。高学年は、世界の国々や日本の文化について学び、趣向を凝らして発表します。

学習したことを他学年との交流の場で披露するよい機会となります。今年も、オリンピック・パラリンピックについてより詳しくなり、開催地域としての誇りをもてるようにしていきたいと思えます。

読書旬間について

10月21日(月)～11月1日(金)

図書担当 大前 敬子

読書の秋です。本校では、毎年、春と秋の2回、読書旬間を設けて読書に対する関心を高めてもらい取り組みを行っています。

期間中、朝学習の時間は全て朝読書の時間になります。読んだ本を読書カードに記録し、読んだ本の中から「心に残った1冊」を友達に紹介するカードを書いてもらいます。図書支援の伊藤先生には、アニメーションやブックトークの授業をしていただき、11月には、練馬おはなしの会の方に「おはなしの会」をしていただく予定です。是非、これを機会に読書に親しみ、読書の習慣を身に付けてほしいです。

今年度は、図書室も蔵書管理システムが導入され、10月にその作業が入ります。1月からは本の貸し出し方法も電子化されます。

10月行事予定

1	火	都民の日
2	水	児童集会 消防署見学4
3	木	歯科検診1・3・5年
4	金	遠足2 情報モラル学習6の1 ※6の1以外は水曜時程5時間授業
5	土	
6	日	
7	月	全校朝会 パワーアップ旬間始 委員会⑥ 遠足2(予備日)
8	火	遠足1
9	水	児童集会 4時間授業
10	木	
11	金	避難訓練 聴導犬学習4
12	土	土曜授業 クラブ⑥ ※1～3年生は11:15下校
13	日	
14	月	体育の日
15	火	放送朝会
16	水	C時程4時間授業 月曜時間割
17	木	宣伝集会 歯科健診2・4・6
18	金	大北オリンピック
19	土	大北まつり
20	日	
21	月	全校朝会 クラブ⑦ 読書旬間始
22	火	即位礼正殿の儀
23	水	音楽朝会 町たんけん2
24	木	遠足4
25	金	町たんけん2(予備日)
26	土	
27	日	
28	月	全校朝会 クラブ⑧
29	火	連合音楽会6
30	水	児童集会
31	木	

まっぴーのプログラミング教育ワンプoint講座!



《プログラミングって教科なの?》

プログラミングが必修化されるといっても、新しい教科ができるわけではありません。今ある算数や理科などの教科にプログラミングの要素を取り入れ、子どもたちの学びをより確かなものにしていくというものです。コンピュータ言語を学んだり、プログラマーを育てたりする学習ではありません。

